



Report 3

### 多くの登山ファンが初夏の訪れを祝う 吾妻山山開き



▲県民謡バイ流し

タニウツギやレンゲツツジが咲き誇り、新緑に囲まれた道が続く吾妻山池ノ原で6月1日、吾妻山山開きが行われ、約3000人の登山客らが参加しました。

夏山登山の安全を祈願する神事式の後、早乙女と呼ばれる女性たちが「県民謡バイ流し」や「比和音頭」などの伝統の舞を披露する中、飛び入りで踊りに参加する人の姿も見られるなど、吾妻山の初夏の訪れを祝う人々にぎわいました。

また、特産品やバザーのコーナーでは、ヤマメや漬物など多くの比和地域の味覚が観光客を喜ばせ、比婆荒神神楽や餅まきでは笑顔があふれていました。

登山客は「暑さも気にならないほどさわやかな気持ちになれた」「紅葉のシーズンにもまた来たい」などと、満足そうに話していました。

Report 4

### 農作業を通じて世代間交流 総領保育所園児が田植え体験

総領町下領家の山根啓荘さんの水田で5月14日、総領保育所の子どもたち28人が、田植え体験をしました。

少し肌寒い曇り空の天候の下、子どもたちは元気に楽しく田植えに挑戦。

初めは泥の感触に戸惑っていた子どもたちでしたが、地域の人に教えられながら少しずつ上達。2.3アールの田んぼの半分を約2時間かけて上手に植えました。

体験した子どもたちは「おもしろかった!」「もっとやりたかった」「上手にできた」と喜んでいました。

この取り組みは、世代間交流の場として毎年行われ、秋には稲刈り体験やお世話になった地域の人を招待し

て、収穫祭も行われる予定です。



▲田植えの様子

Report 5

### 気迫のこもった演奏で観客を魅了 太鼓ライブ IN 東城

太鼓ライブ実行委員会が主催する「太鼓ライブ IN 東城」が6月7日、東城文化ホールで開催されました。



▲不老仙太鼓

第9回目となる今年は、地元から鬼神太鼓、ひばん婆太鼓、神龍太鼓のほか、上谷町の不老仙太鼓や神石高原町の三和こども和太鼓が、勇壮な“ばちさばき”に加えて、美しい調べを披露しました。

また、特別出演として広島市から「ひろしま天手鼓舞(てんでこまい)」の演奏も行われ、心に響く力強さや妙技に、子どもからお年寄りまで約150人の観客が酔いしれました。

鬼神太鼓代表の今岡誠一さんは「来年は10周年を迎えます。太鼓は誰でも気軽に触れることができる伝統文化の一つ。さらにみんなで練習を重ね、来年はより一層迫力ある“ばちさばき”を披露したい」と話していました。

Report 1

### 緑に囲まれ心も身体もリフレッシュ 道後山山開き・つつじ祭り

山頂の大パノラマが絶景の道後山で6月15日、山開き・つつじ祭りが行われ、市内外から多くの来場者と登山者でにぎわいました。

山開きは、登山者の安全を祈って行われる神事から

始まり、地元住民による民謡や西城川太鼓の演奏、神楽の奉納が行われました。

今年は新しく「道後山DEヨーガ体験」と題して1時間程度ヨーガ体験が行われ、登山者も飛び入りで参加。参加者は、シャンティヨーガ講師の土橋益寿子さんの指導のもと、体内の悪いものを吐き出すというヨーガの呼吸法を実践。新緑の中でおいしい空気をたくさん吸い込み、体内の悪いものをしっかり吐き出し、心も身体も大解放。登山者も足の疲れを忘れ、すっかりリフレッシュしていました。

土橋さんは「日常の中で呼吸を意識することが大切ですが、つい忘れてしまいがち。自然のおいしい空気に触れれば、自然と呼吸が促されます。この感覚を忘れず日常に戻っても続けてほしいですね」と話していました。



▲ヨーガでリフレッシュ

Report 2

### 手作り真空管アンプの音色に酔いしれる 口和郷土資料館でコンサート

第13回手作り真空管アンプコンサートが6月22日、口和郷土資料館ロビーで開催され、遠くは岡山、島根、鳥取など市内外から約80人が参加しました。

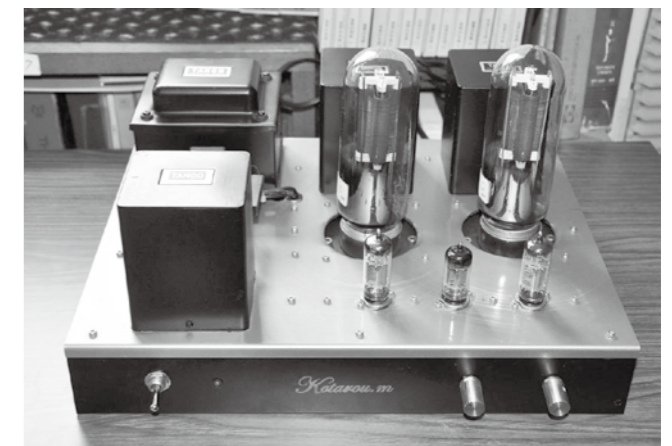
このコンサートは毎年2回開催され、参加者の手作りした真空管アンプを持ち寄り、CDやレコードを聴き比べて楽しめます。

今回持ち寄られた真空管アンプは15台で、レトロな高級スピーカーなどを組み合わせ、それぞれ最高の音を演出。独特のやわらかな音色が会場に響き渡り、参加者は目を閉じて酔いしれていました。



▲真空管アンプの音色を楽しむ参加者

そのほか、トランペットの生演奏も行われ、



▲手作りの真空管アンプ

口和特産のシフォンケーキなども振る舞われました。安部博良館長は「年々アンプコンサートの参加者が増えており、大変にやりがいがある。今後も続けていきたい」と話していました。

市内のイベントやまちの話題をお届けします。  
身近でホットな情報をお寄せください。  
情報政策課広報広聴係  
☎0824-73-1159 / Fax0824-72-3322



Report 8

## 石原和幸さん3年連続W受賞の快挙 チェルシーフラワーショーでゴールドメダル&ベストガーデン賞

庄原市ふるさと大使の石原和幸（ガーデンデザイン・ランドスケープアーティスト）さんが、世界最古にして最も権威のあるガーデニング&フラワーショーである英国チェルシーフラワーショー2014に、ガーデン「桃源郷」を出展し、ゴールドメダル&ベストガーデン賞をW受賞しました。W受賞は今回の受賞で3年連続となります。

しょうばら花会議の佐藤浩子理事長は「市民としてもうれしく誇りに思います。今後も石原さんから花と緑のまちづくりに関し、さまざまなことを学んでいき、もっとすばらしい花会議にしていきたいです」と話していました。

石原和幸さんは、花と緑のまちづくりを目的とした市民団体「しょうばら花会議」の設立や、オープンガーデン事業の足がかりを作るなど、庄原市のまちづくりに貢献。今後も花と緑のまちづくり推進やPR役として期待されます。

市内には石原和幸さんがプロデュースした庭が2庭ありますので、ぜひご覧ください。



▲チェルシーフラワーショー2014 ベストガーデン「桃源郷」



▲まちなか広場の「里山のくらし」



▲国営備北丘陵公園にある「備北緑風庭」

Report 9

## 田植え作業に初挑戦 庄原焼きプロジェクトこめぼんズ



▲秋の収穫に向け意気込むメンバーら

まちおこし団体「庄原焼きプロジェクトこめぼんズ」のメンバーらが5月24日、庄原焼きの主役である米を自ら作ろうと、総領町亀谷の矢吹正直さんの田んぼ約3アールを借りて、田植えを行いました。

メンバーで県立広島大学3年生の小野わかなさんの呼びかけで、県大生4人も参加。総勢16人で、約1時間かけて田植えを行いました。9月下旬には稲刈りも実施する予定です。

こめぼんズのメンバーの一人、仲正人さんは「今から秋の収穫が楽しみです。10月以降の出展時は、収穫したお米を使った庄原焼きをお届けしたい。庄原のお米のおいしさと庄原市をしっかりPRしていきたい」と話していました。

Report 6

## 子育て世代が気軽に参加 上高自治振興区がフリーマーケット

上高自治振興区が主催するフリーマーケットが6月1日、上高自治振興センターで開催され、親子連れなど約120人が来場し、にぎわいを見せました。

当日は、事前に応募があった9グループが、手作り雑貨や衣料品などを販売。子ども服を出品した高野町の藤原久子さんは「家に眠っていた子ども服をまた着てもらえるのはとてもうれしい」と話していました。

初開催のこのイベントは、同振興区の若い子育て中の女性メンバーが集まり企画。メンバーの1人で上高自治振興区事務局員の貞兼由季さんは「このイベントでは託児を可能にするなど子育て世代が気軽に参加できるようにしています。今後も子どもと一緒に楽しみながら参加できる新しい企画を考えていきたいです」と話していました。



▲子どもと楽しめるお店も出店

Report 7

## 農業による地域活性化の取り組みが高く評価 農山漁村の宝に「粟田川流域農地・水・環境を守る会」



▲選定証を授与される藤本勲代表（左）

東城町粟田地区の農家などで作る「粟田川流域農地・水・環境を守る会」（藤本勲代表）が、「ディスカバー農山漁村の宝」に選ばれました。

農山漁村の宝は、内閣官房および農林水産省が農作物や地域の伝統などを生かした地域活性化、所得向上に取り組んでいる優良事例を選定し、全国へ発信する狙いで募集。今年5月、全国251地区の応募から23地区が選定され、県内では「粟田川流域農地・水・環境を守る会」が唯一選定されました。今年で27回目となる稲作の農業体験を通じた農村と都市住民との

交流や、地域の子どもの食育に取り組んできた点が評価されました。

6月10日には、総理大臣官邸で「農山漁村の宝」選定証授与式および交流会が開催され、選定証が授与されました。

藤本代表は「第1期生として責任の重さを感じている。23地区の方々と情報交換をしながら、地域の発展のため活動していきたい」と意気込みを語っています。



▲交流会で安倍晋三内閣総理大臣らと